



**EU
SPRING**

愛媛から世界をめざす
学生のための
博士人材育成プログラム

**愛媛大学
EHIME UNIVERSITY**

1

本事業の目的

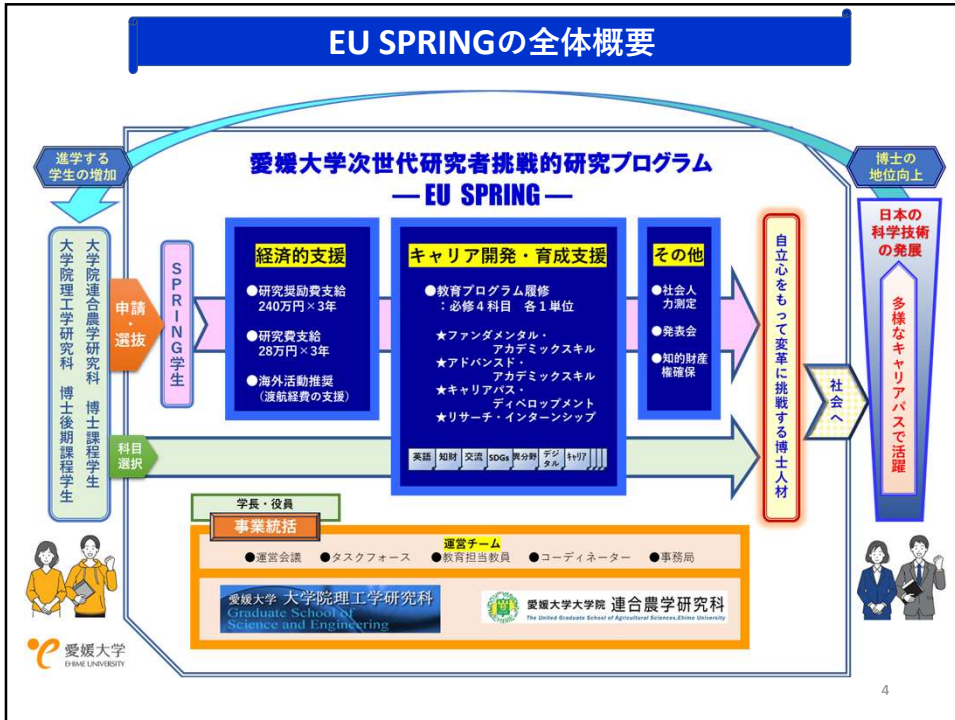
- 次世代研究者挑戦的研究プログラム（Support for Pioneering Research Initiated by the Next Generation : **SPRING**）は、我が国の科学技術・イノベーションの創出を担う優れた博士後期課程学生に対し、自由で挑戦的な研究に専念するための経済的支援と、キャリア開発・育成コンテンツといった教育的支援等を行うことで、多様なキャリアパスで活躍できる博士人材へと導くことを目的としています。
- 本学では、これまで同様の学生支援事業である「フェローシップ事業」を実施してきましたが、国の方針により全面的に「**SPRING事業**」に移行し、支援内容を強化した上で、2024年度から「**EU SPRING事業**」として再スタートするものです。
- 対象学生の皆様には、このEU SPRING事業にチャレンジして採用されることで、経済面を心配することなく、研究への専念、自己研鑽、並びにキャリアの熟考を進めてください。そして将来、社会で大いに活躍いただくことを期待しています。

EU SPRING 事業統括 理事・副学長 八尋 秀典

本事業の対象者と募集人数等

種 類	2024年度入学生採用分	2023年度入学生採用分	2022年度入学生採用分
理工学研究科博士後期課程・連合農学研究科博士課程			
対象者	2024年4月入学生	2024年9・10月 入学予定生※	2023年4月入学生 2023年9・10月入学生
	2022年4月入学生 2022年9・10月入学生		
・優れた研究能力を有し、研究に専念する者 ・我が国の科学技術・イノベーションの将来を担う優秀な志がある者			
選抜人数	10名	若干名	3名
募集時期	今回募集	※7～8月に募集案内予定	今回募集
評価基準	・研究内容 ・将来を担う志 ・学業成績 ・研究業績	・研究内容 ・将来を担う志 ・学業成績 ・研究業績	・研究内容 ・将来を担う志 ・研究業績
	・研究内容 ・将来を担う志 ・研究業績	・研究内容 ・将来を担う志 ・研究業績	・研究内容 ・将来を担う志 ・研究業績
支援期間	2024年4月から 2027年3月までの3年間	2024年9月・10月から 2027年9月までの3年間	入学月に関係なく 2024年4月から 2026年3月までの2年間
申請できない者	・所属する大学や企業等から年額240万円以上の給与等の安定的な収入を得ていると認められる者		
	・生活費に係る年額240万円以上の給付型奨学金を得ている学生 ・日本学術振興会の特別研究員、国費外国人留学生又は本国から奨学金等の支援を受ける留学生 ・成績不振により修了が延期している又は延期が確定している者、休学中の者		
申請方法等 / スライド8のWebページに掲載してある公募要領と申請様式を参照してください。 5月7日10:00までに、申請書等一式を指導教員を通じて提出してください。			

3



経済的支援

■研究奨励費（生活費相当）

月額20万円を給付します。

用途に制限はありません。支援期間は最大3年間です。
本学から直接学生に給付します。

■研究費

年額28万円を給付します。

学生の研究活動に使います。支援期間は最大3年間です。
経理は、本学が学生に代わって処理します。

■海外活動支援（推奨）

学生の国際性の涵養のために、短期留学、海外派遣研修、必修科目「リサーチ・インターンシップ」における海外インターンシップといった海外活動を推奨し、実施する学生には、渡航費用などについて支援を行います。
(対象活動や額については現在検討中)

5

キャリア開発・育成支援

■ SPRING学生は下記4科目を必修とし、履修すれば各1単位を付与します。

(今回、必修は2024年度入学生採用分のSPRING学生のみです)

■ SPRING学生以外でも選択して学習することが可能で、同様に単位を付与します。

C1 ファンダメンタル・アカデミックスキル科目

～英語力の養成～◀1単位▶

リーディング・ライティング・プレゼンテーションといった各種演習を通じて、バランスの取れた総合的で実践的な英語力を養成する科目



C2 アドバンスド・アカデミックスキル科目

～研究付帯力の養成～◀1単位▶

知財講義、論文作成講義、外部資金獲得演習、研究者交流、SDGs・異分野技術・DX関連セミナー等を通じて、研究に付帯すべき力を養成する科目



各科目の詳細については、スライド9～12を参照

C3 キャリアパス・ディベロップメント科目

～キャリア形成力の養成～◀1単位▶

企業等の開発現場の見学、コミュニケーション講義、本学OBとの交流、進路情報講義、自己理解を深めるグループワーク等を通じて、キャリア形成力を養成する科目



C4 リサーチ・インターンシップ科目

～実社会の体験～◀1単位▶

企業等のインターンシップに参画し、課題解決型のプロジェクト等に取り組むことで、研究開発の社会的意義、自己の総合能力、キャリア志向を認識する科目



その他

■学生の社会人力測定

学生の成長とSPRING事業全体の効果を可視化し、検証するために、学生に対し、社会人力のテストと分析・指導を実施します。



PROGテスト

全SPRING学生に
年に1回
テストを実施

講師：リアセック様

Literacy x Competency

全学種別

SPRING事業全体の効果を可視化し、検証するために、学生に対し、社会人力のテストと分析・指導を実施します。

SPRING事業全体の効果を可視化し、検証するために、学生に対し、社会人力のテストと分析・指導を実施します。

SPRING事業全体の効果を可視化し、検証するために、学生に対し、社会人力のテストと分析・指導を実施します。

SPRING事業全体の効果を可視化し、検証するために、学生に対し、社会人力のテストと分析・指導を実施します。

SPRING事業全体の効果を可視化し、検証するために、学生に対し、社会人力のテストと分析・指導を実施します。

SPRING事業全体の効果を可視化し、検証するために、学生に対し、社会人力のテストと分析・指導を実施します。



■成果発表会

本事業で得られた様々な成果を、発表という形で還元します。

■知的財産権の確保

本事業により実施した研究で得た発明は、知的財産権を取得していただきます。登録等に必要な経費を支援します。

■メンターのフォロー

メンターが学生に対し、定期的に個人面談を行うとともに、指導教員・就職担当教職員等と連携して、就職やメンタル面をフォローします。

7

重要な義務や注意点

■SPRING学生の義務

SPRING学生は、以下の事項を遵守しなければなりません。

- (1) 研究計画に基づき研究活動に専念すること
- (2) 本学が指定する科目を履修し単位を修得すること（2024年度入学生採用者）
- (3) 指導教員に研究活動の状況を定期的に報告すること
- (4) メンターによる面談を定期的に受けること
- (5) 分野ごとに定められた時期により、学外に向けた研究成果の発表を行うこと
- (6) 研究倫理教育を受講すること
- (7) SPRING修了後10年間、キャリアの情報提供に協力すること

■授業料免除制度なし

フェロシップ事業で導入されていた授業料免除制度は、SPRING事業では無くなりましたのでご注意ください。

■税金・保険・年金等納付義務の発生

研究奨励費は、税法上「雑所得」のため、所得税、住民税の課税対象となりますので、各自で毎年確定申告を行って税金を納める必要があります。また、親族に扶養されている方は、所得が発生することで、扶養を外れて国民健康保険・国民年金等に加入し、保険料等を納付する可能性が高くなることにご注意ください。

募集に関するお問合せ先・Webページ

spapply@stu.ehime-u.ac.jp

<https://www.eng.ehime-u.ac.jp/rikougaku/fellowship/>



8

C1 ファンダメンタル・アカデミックスキル科目

【英語力の養成】

<1単位>

リーディング・ライティング・プレゼンテーションといった各種演習を通じて、バランスの取れた総合的で実践的な英語力を養成する科目

回	項目	時間	内容	備考
1	英語プレゼン演習1	1.5H	自分の研究について、英語での発表演習等を行う。また専門家から講習を受ける。	講師：学内教員 企業者
2	英語プレゼン演習2	1.5H		
3	英語プレゼン演習3	1.5H		
4	ビジネス英語実務講義	1.5H	企業の海外経験者からビジネスシーンでの英語の活用を学ぶ。	講師：企業者
5	英語ライティング演習1	1.5H	英語ライティングの文法力や表現力を向上させる演習等を行う。	講師：学内教員
6	英語ライティング演習2	1.5H		
7	英語ライティング演習3	1.5H		
8	英語ライティング演習4	1.5H		

授業は6月～1月の間に随時実施します。原則D1時に履修を完了してください。

過去の
実施例第1回 英語プレゼン
テーション演習学生が互いに英語で
自分の研究を紹介第4回 ビジネス英語
実務者講演講師：企業
海外派遣経験者第5-8回 英語ライ
ティング演習講師：
元愛媛大学国際連携
推進機構 教員

9

C2 アドバンスド・アカデミックスキル科目

【研究付帯力の養成】

<1単位>

知財講義、論文作成講義、外部資金獲得演習、研究者との交流、SDGs・異分野技術・DX関連セミナー等を通じて、研究に付帯すべき力を養成する科目

回	項目	時間	内容	備考
1	アカデミック・プレゼン講義	2H	パワポを使ったプレゼンを身に付ける。	講師：学内教員
2	論文書き方講義	2H	学術論文の書き方について理解する。	講師：学内教員
3	知的財産権講義	2H	知的財産権の基礎的な知識を学習する。	講師：学内教員
4	外部資金申請書類の作成演習	1.5H	外部資金を題材に申請書類を作成する。	講師：学内教員
5	研究者・技術者との交流	1.5H	優れた研究者・技術者との交流を図る。	講師：学外研究者
6	SDGsセミナー	1.5H	SDGsに関するセミナーに参加する。	講師：学内外教員等
7	学術関連セミナー	1.5H	専門以外の学術関連セミナーに参加する。	講師：学内教員
8	DX関連セミナー	1.5H	DX等に関するセミナーに参加する。	講師：学内教員

授業は6月～1月の間に随時実施します。D1～D3の間に履修を完了してください。

過去の
実施例第4回 外部資金への
申請書類の作成演習

講師：愛媛大学教員

第5回 研究者等との交
流各自で研究者と交流
事例：留学生が中国
で研究者交流第7回 愛媛大学学
術関連セミナー各自で異分野の学
術セミナーを受講第8回 愛媛大学DX関連
セミナー各自でDX・デジタル
分野の学術セミナー
を受講

10

C3 キャリアパス・ディベロップメント科目

【キャリア形成力の養成】

<1単位>

企業等の開発現場の見学、コミュニケーション講義、本学OBとの交流、進路情報講義、自己理解を深めるグループワーク等を通じて、キャリア形成力を養成する科目

回	項目	時間	内容	備考
1	社会人力養成1	1.5H	企業を訪問し研究開発の現場を学ぶ。	講師：企業者
2	社会人力養成2	1.5H	県の研究開発支援機関を現地で学ぶ。	講師：愛媛県職員
3	社会人力養成3	1.5H	コミュニケーションマナーを学ぶ。	講師：企業者
4	キャリア形成支援1	1.5H	博士課程の卒業生（企業人／大学人）からキャリア経験の講義を行う。	講師：企業・大学OB
5	キャリア形成支援2	1.5H	後期課程学生の進路状況について学ぶ。	講師：企業者
6	キャリア形成演習1	1.5H	キャリア形成のために必要とされる自己理解や能力開発について、それらを促進するためグループワークを行う。	講師：就職支援機関
7	キャリア形成演習2	1.5H	自己理解や能力開発について、それらを促進するためグループワークを行う。	講師：就職支援機関
8	キャリア形成演習3	1.5H	採用面接試験の模擬演習を行う。	講師：就職支援機関

授業は6月～1月の間に随時実施します。D1～D3の間に履修を完了してください。

過去の
実施例

第1回社会人力養成

講師：ものづくり企業者（工場見学）



第2回社会人力養成

講師：愛媛県の産業支援機関職員（施設見学）



第6-8回キャリア形成演習

講師：キャリアコンサルタント



C4 リサーチ・インターンシップ科目

【実社会の体験】

<1単位>

企業等のインターンシップに参画し、課題解決型のプロジェクト等に取り組むことで、研究開発の社会的意義、自己の総合能力、キャリア志向を認識する科目

本科目は、「リサーチ・インターンシップ」を、以下の両方の条件を満たすものと定義する。


①実習期間が5日以上であり、就業体験を伴うもの。 ②課題解決に取り組む内容が含まれているもの。

学生は、以下の4タイプから、自分に合った方法を選択し、随時1回実施する。

タイプ1 「協議会型リサーチ・インターンシップ」	学生が『ジョブ型研究インターンシップ推進協議会：(株)アカリク』が提供するシステムを使って、受け入れ先を見つける。
タイプ2 「選択型リサーチ・インターンシップ」	学生が、企業等が提供する従前のインターンシップの中から、受け入れ先を見つける。
タイプ3 「指定型リサーチ・インターンシップ」	学生が、事務局が指定する企業等のリサーチ・インターンシップ該当案件の中から、受け入れ先を見つける。
タイプ4 「みなし型リサーチ・インターンシップ」	事務局が、学生の企業・大学に行き実施する調査・研究・留学等を、リサーチ・インターンシップ相当とみなして認める。

各自が任意時期に実施できます。D1～D3の間に履修を完了してください。

過去の
実施例



学生がタイプ3を選択

- ◎就職支援企業との連携により作成されたインターンシップ候補リストを、学生へ情報提供
- ◎学生がインターンシップにエントリー、採用
- ◎学生は、当該企業でインターンシップを実施
- ◎当該企業が、学生の評価を大学に送付
- ◎学生は、実施内容や意見をレポートにして、本学に提出

